



应用型

旅游外语专业系列教材

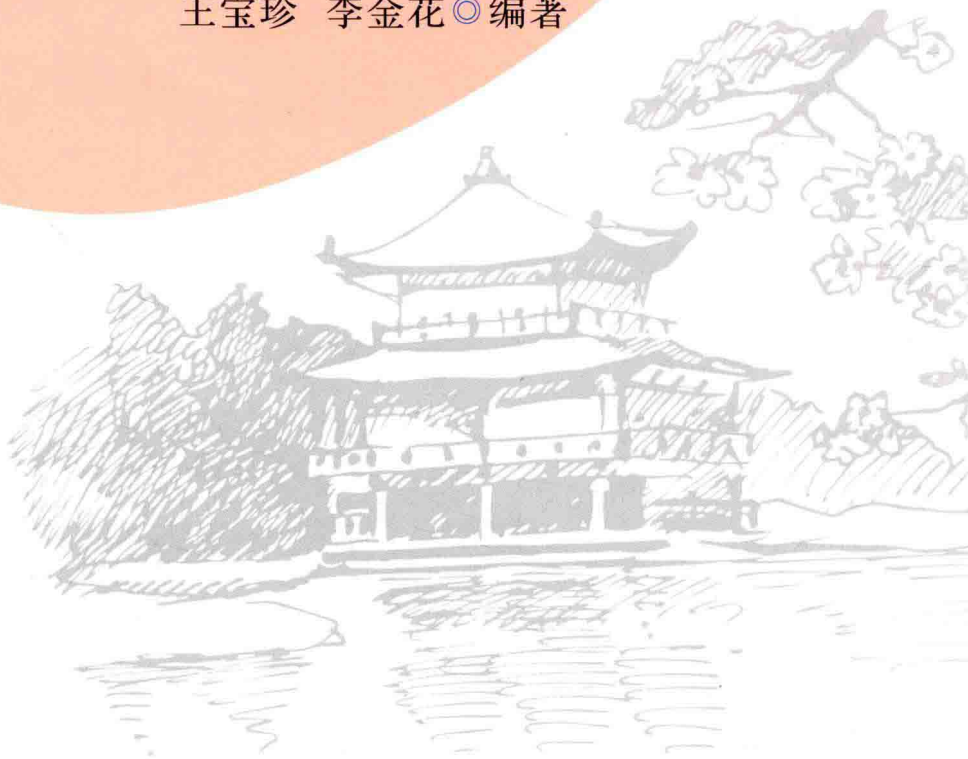


“十二五”职业教育国家规划教材
经全国职业教育教材审定委员会审定

实用 旅游日语视听说教程

観光日本語視聴解と会話

王宝珍 李金花◎编著



北京第二外国语学院
旅游教育出版社

应用型
旅游外语专业系列教材



规划教材
委员会审定

实用 旅游日语视听说教程

観光日本語視聴解と会話

王宝珍 李金花◎编著



北京·旅游教育出版社

策 划：李红丽 赵 天
责任编辑：赵 天

图书在版编目(CIP)数据

实用旅游日语视听说教程 / 王宝珍, 李金花编著

— 北京 : 旅游教育出版社, 2017.5

应用型旅游外语专业系列教材

ISBN 978-7-5637-3557-0

I. ①实… II. ①王… ②李… III. ①旅游—日语—
听说教学—高等学校—教材 IV. ①F59

中国版本图书馆CIP数据核字(2017)第090386号

“十二五”职业教育国家规划教材
应用型旅游外语专业系列教材
实用旅游日语视听说教程
王宝珍 李金花 编著

出版单位	旅游教育出版社
地 址	北京市朝阳区定福庄南里1号
邮 编	100024
发行电话	(010) 65778403 65728372 65767462 (传真)
本社网址	www.tepcb.com
E - mail	tepfx@163.com
排版单位	北京旅教文化传播有限公司
印刷单位	北京柏力行彩印有限公司
经销单位	新华书店
开 本	710毫米×1000毫米 1/16
印 张	20.5
字 数	266千字
版 次	2017年5月第1版
印 次	2017年5月第1次印刷
定 价	39.00元(含DVD光盘)

(图书如有装订差错请与发行部联系)

前言

まえがき

近年，中国出境游人数不断增加，多年蝉联全球出境旅游人次和消费额的双料冠军。日本作为中国最大的旅游目的地之一，2016年全年接待中国游客640万人次。中日旅游市场的繁荣使得旅游业对日语人才提出了更高的要求，不仅要求从业人员拥有扎实的旅游专业知识和技能，还需要良好的交际能力和日语沟通能力。如何更加扎实有效地培养旅游日语专业学生的实际应用能力，成为教学的一大课题。

对于日语学习者来说，“听说读写译”五项基本技能中的听与说，在非母语环境的校园课堂学习中显得尤其薄弱。高等院校旅游日语专业的学生通常选用语言文学类日语专业听力教材，不能适应快速发展的中日出入境旅游市场对人才的需求。因此，我们根据国内日语教学的现状和旅游日语专业学生的实际情况，结合旅游行业的实际需求编写了本教材，供职业院校的相关专业学生选用。

本教材内容全面新颖，紧扣观光旅游主题，切合实际旅游行程，涵盖旅游者出游消费行为的实际表达。在编写过程中，编者结合外语学习的规律进行了一定创新，在传统听力教材的基础上加入了双速模仿跟读、日本新闻视频视听等模块，力求使听力学习更加轻松、活泼、有趣，更加有效地帮助学习者提升综合能力和职业素养，拓展旅游日语、旅行业务技能的广度和深度。

本书共分6大单元，共30课，内容涉及旅游业、旅游文化、导游业务、领队业务、餐饮和购物等。每课内容包括以下几个模块：

聞く前に（热身学习）：列出本课的重点单词与短句，帮助学习者在正式进入听力练习前积累基础的语言知识。

聴解トレーニング（听力训练）：分单词、短文、会话三部分设置听

力习题，由浅入深、循序渐进地对本课涉及的旅游常见场景进行剖析，使学习者在提高听力能力的同时掌握内容相关的知识点。

視聴解と会話練習（视听说练习）：通过模仿跟读、日本新闻视听和编写对话等训练，进一步强化学习者的听力理解能力和口语表达能力。

カルチャーショック（文化知识）：紧扣行业相关知识，涵盖日本的风土人情、社交礼仪、旅游资源、餐饮习惯和消费知识等内容，帮助学习者进一步拓宽视野。

本教材由王宝珍、李金花共同编写，其中王宝珍负责1、3、4、6四个单元，李金花负责2、5两个单元。全书由王宝珍统筹定稿。

在本书立项阶段，湖北省旅游学校李莉老师做了很多工作；编写过程中我们也得到了旅游教育出版社的各种协助，特在此表示衷心的感谢。感谢给予各种谏言和协助的朋友们，也要更加感谢将要遇见这本书的读者，希望得到你们的反馈，以便改正存在的不足。

由于时间仓促，书中难免存在纰漏，恳请读者批评指正。勤学苦练是学习外语的通途，希望本书的学习者，可以在“听明白，说得像”上取得突破。

编者

2017年3月

目 录

もくじ

ユニット1 観光事業 / 旅游业	001
第1課 国内観光 / 国内旅游	003
第2課 国際観光 / 出境旅游	012
第3課 手配旅行と主催旅行 / 定制旅行与跟团旅行	020
第4課 通訳案内士と日本のもてなし / 翻译导游与日本服务 接待	028
第5課 オリンピック / 奥运会	036
ユニット2 観光文化 / 旅游文化	045
第1課 都会概説 / 都市风情	047
第2課 宗教概説 / 宗教相关	055
第3課 山水観賞 / 自然风光	063
第4課 名勝旧跡 / 名胜古迹	071
第5課 年中行事 / 年中节庆	078
ユニット3 ガイド業務 / 导游业务	087
第1課 出迎え / 接机	089
第2課 空港から市内へ / 沿途导游	096
第3課 宿泊 / 住宿	104
第4課 両替 / 外币兑换	113
第5課 見送り / 欢送	121
ユニット4 添乗業務 / 领队业务	129
第1課 チェックインと荷物託送 / 登机手续与行李托运 ..	131

第2課	搭乗と機内サービス / 登机与机内服务	139
第3課	入国手続と荷物受け取り / 入境手続与收取行李	147
第4課	空港免税店 / 机场免税店	155
第5課	税関 / 海关	163
ユニット5	食事 / 餐饮	171
第1課	洋風ホテルの朝食 / 西式酒店早餐	173
第2課	和風温泉旅館の定食 / 日式温泉旅馆套餐	181
第3課	日本の懐石料理 / 日本怀石料理	189
第4課	中華ツアー料理 / 旅游团队中餐	197
第5課	居酒屋での食事 / 居酒屋	205
ユニット6	ショッピング / 购物	213
第1課	中国人爆買 / 中国人“爆买”现象	215
第2課	通販で品物を選ぶ / 网上购物	223
第3課	スマホで支払う / 智能手机支付	231
第4課	アウトレットでの買い物 / 奥特莱斯	239
第5課	タックスリバック / 退税	247
付録1	答え / 参考答案	255
付録2	スクリプト / 听力原文	271

ユニット 1

観光事業

旅游业

第 1 課 国内観光 / 国内旅游

第 2 課 国際観光 / 出境旅游

第 3 課 手配旅行と主催旅行 / 定制旅行与跟团
旅行

第 4 課 通訳案内士と日本のもてなし / 翻译导
游与日本服务接待

第 5 課 オリンピック / 奥运会

作为出境旅游大国，中国已站在世界旅游消费市场的前沿，无论是出境人数还是消费额度都遥遥领先，对拉动世界旅游经济起到了重要作用。日本作为中国近邻，是中国旅游者出境旅游的热门目的地之一，2016年，日本接待入境游客2400万人次，其中中国游客637万人次，较上年增长28%。

第 1 課

国内観光 / 国内旅游

聞く前に

単語カット

宿泊 (しゅくはく・shukuhaku) ① [名・自動・サ変/三类] 投宿, 住宿	プラス (purasu) ①① [名・他動・サ変/三类] <英> plus; 加, 増加
呼ぶ (よぶ・yobu) ① [他動・五段/一类] 喊, 叫; 叫来; 请来; 邀请	明治 (めいじ・meiji) ① [名] 明治 (天皇睦仁的年号)
伴う (ともなう・tomonau) ③ [自他・五段/一类] 带, 伴随	用いる (もちいる・mochiiru) ③ [五段/一类] 用; 使用; 采用; 采纳
大正 (たいしょう・taishou) ① [名] 大正 (天皇嘉仁的年号)	引き起こす (ひきおこす・hikiokosu) ④ [五段/一类] 引起; 惹起
田舎 (いなか・inaka) ① [名] 乡下, 农村; 家乡, 老家	かかわらず (kakawarazu) ③ [接续] 不论, 不管; 尽管, 虽然

ポイント文章

- ① 観光の本来の意味は、「国の威光を観察する」である。
- ② これについてはマスツーリズムに詳しい。
- ③ ただし、米国では来訪による移動の距離や宿泊を伴うかどうかにより、近隣や日帰りの場合は除外することもある。
- ④ 宿泊を伴うか否かにかかわらず「観光旅行」の普及と発展は、「観

光地」にさまざまなプラスのまたはマイナスの影響を引き起こす。

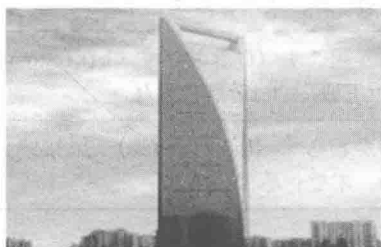
- ⑤ 田舎と山村の観光化によって、村の経済が右肩上がり、村民の生活水準が高くなり、視野も広がりました。

聴解トレーニング

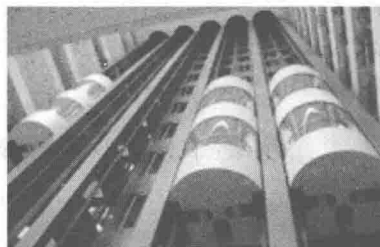
単語マジック

録音の内容を聞いて、単語に合っている絵を一つ選んでください。

①

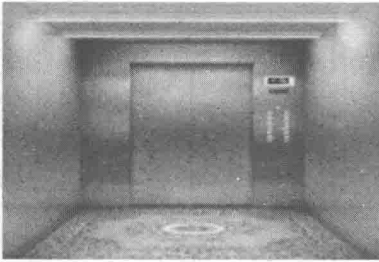


②

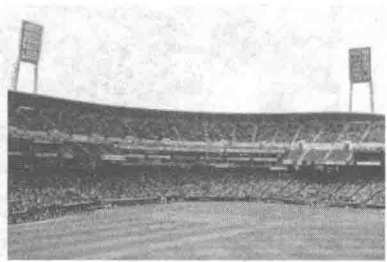


国内観光ブームは農家楽です。

C.



D.



③

A.



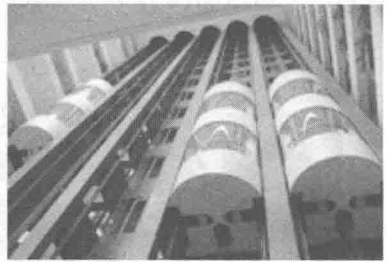
B.



C.

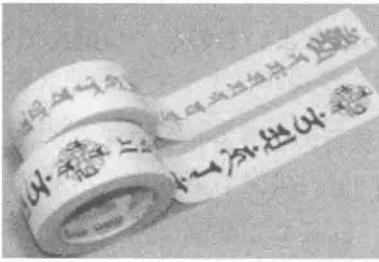


D.



④

A.



B.



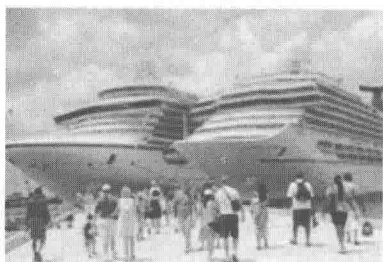


C.



D.

⑤



A.




B.



C.



D.

 トピックを聞きましょう

問題1 録音を聞いて、A～Dの中から最もよいものを一つ選んでください。

- ① 観光とは一般には、何を目的とする旅行のことを指しますか。
- A. 楽しみ
 - B. 買い物
 - C. おいしいものを食べる
 - D. 勉強

- ② 観光に対応する英語は何ですか。
 A. トラベル B. ビジネス C. ツーリズム D. ホスピタリティ
- ③ 「観光」の語源はどの著書による言葉ですか。
 A. 古事記 B. 論語 C. 易経 D. 道德経
- ④ 日本では、「観光」という言葉はいつ頃から使われはじめたのですか。
 A. 大正 B. 明治 C. 昭和 D. 平成

問題2 録音をもう一回聞いて、穴を埋めてください。

- ① _____には観光産業という意味もあるが、これに対して_____と呼ぶこともある。
- ② _____を観る。もって_____に賓たるに利し。



会話を聞きましょう

会話を聞いて、会話の内容に合っているものをA～Dの中から一つ選んでください。

- ① どの国の観光業についての話題ですか。
 A. 韓国 B. 中国 C. タイ D. 日本
- ② 観光の発展は何のためですか。
 A. 政治変化 B. 文芸復興 C. 経済増長 D. 収入が多い
- ③ 観光開発のプラス的影響は何ですか。
 A. 村の経済がよくなる B. 村民が少なくなる
 C. 国際交流が頻繁になる D. 外来人口が多くなる
- ④ 観光開発のマイナス的影響は何ですか。
 A. 村の耕地面積が狭くなる
 B. 生活スタイルは変わらない
 C. 国際交流が頻繁になる
 D. 年寄は多くなる

聞いて話す練習

シャドーイング

練習1 スロウとファーストスピードで3回ずつ短文をフォローしてから、真似しましょう。

- ① 観光大使とは、主に観光地や地域振興を目的として、対外的に自らの地域を広報する者のことをいう。
- ② 観光地ではないが、地域振興のために一般市民や地元以外の人々にPRを委嘱している場合、それらを故郷大使と呼称する人が多い。

練習2 スロウスピードで話しましょう。

観光大使とは、主に観光地や地域振興を目的として、対外的に自らの地域を広報する者のことをいう。主に都道府県、市町村の他、観光協会や商工会議所その他団体が設置、委嘱している。観光大使の活動は、観光大使制度の設置主体により様々であるが、概ね、東京他観光客の見込める大都市圏を巡業し当地の広報活動を展開する他、シンポジウムその他観光振興に関連する行事の出席が予定されているという活動が通常である。また、観光地ではないが、地域振興のために一般市民や地元以外の人々にPRを委嘱している場合、それらを故郷大使と呼称する人が多い。これらの場合には芸能人や有名人、キャンペーンレディーではなく、一般市民や市町村外の人々にも広く委嘱されていることが多い。



ロールプレイ

ニュースを聞いて、ロールプレイしましょう。

深まる秋の早朝に水墨画のような景色 長野

【あらすじ】

深まる秋の朝早くに、幻想的な風景が現れました。

濃い霧に包まれた、26日朝の長野・安曇野市。

霧を突き抜けて上空から見下ろすと、どこまでも続く雲海が広がっています。

真っ白な霧は、木々や家々を包み込み、大海原に揺れる波のようです。

25日夜は、寒冷前線にともなう雨が降って、空気中の水分量が増え、明け方、気温が下がったため、26日朝は、安曇野市の広い範囲で霧が発生し、水墨画のような景色となりました。

ロールプレイカード			
話題			
話し手		聞き手	
メモ			

カルチャーショック

団体旅行の先駆け「トーマス・クック」

団体旅行 (pack tour) は今では当たり前で、日本の海外旅行の大半はこの団体旅行が殆どと云っても過言ではない。

戦後、日本で外貨が自由化されるまでは「旅行小切手」(traveler's check)

が盛んに使用されたが、クレジットカードと世界ネット化が進んで、今では使われることが少なくなった。

この traveler's check であるが、ヨーロッパでの起源は18世紀末(1772年)とされているが、これを大々的に世界に広めたのは、団体旅行の創始者と云われるトーマス・クック(Thomas Cook, 1808-1892)であった。

トーマス・クック社は現在でも世界指折りの旅行会社であるが、そもそも“旅行業”なる職業はクック以前には殆ど存在していなかった。

トーマス・クック社は、産業革命の進展、大英帝国の形成過程で、19世紀前半にイギリス国内における鉄道発展を転機として生まれた産業と言える。

クックの旅客企画業の端緒となった1841年の団体旅行は、同年7月、彼が偶然企画した「禁酒運動大会」に、一人でも多くの参加者を集める為に主宰した特殊な団体旅行の結果であった。

トーマスは4歳の時、父親が他界したが、バプティスト派の牧師の娘であった母親の影響で彼は敬虔なクリスチャンとして育てられた。

最初の旅行企画が大成功を収めた丁度、10年後、クックは大英帝国の栄華を世界に示した、1851年のロンドン万博(クリスタル・パレス)行きの為の団体旅行を企画するチャンスに巡りあった。

ここで彼は、出発から帰還までの交通手段、旅先での宿泊施設、名所旧跡の見学コースやイベント参加のアレンジと予約まで、あらゆる手続きのすべてを請け負い、旅行参加者の手を一切煩わすことなく、安全な旅行が遂行できるように準備を整え、今日呼ばれる“パック・ツアー”の先駆けとなった。

産業革命のおとし子と呼ばれる蒸気機関車、蒸気船を利用、裕福となったイギリスの中産階級を客に取り込み、当初から鉄道料金を割引して、このころまで富裕層のみに独占されていた「豪華な海外旅行」を大衆のものとする事に努力した。

それまで家庭的でしとやかなことが理想と看做されていたヴィクトリア朝の女性にも、この形の旅行は人気を呼び、クック社が企画した旅行には単身の女性の間にもブームを呼ぶこととなった。

それ以後、イタリア、フランス、オランダ、スイスなどのヨーロッパ諸国、又は、合衆国。パレスティナやエジプトとパックス・ブリタニカの波にのって文字通り、地球の七つの海の彼方までクック社の企画による「団体旅行」はとどまるとこ